

今こそ社員とその家族を大切に

(株)西軽精機 代表取締役 上原大輔氏

「ワークライフバランス実現企業※」第一号の認定をうけた、小田井にある(株)西軽精機 上原社長に、ワークライフバランス(以下、WLB)の取り組みや成果、そして、新型コロナウイルス収束後の企業のあり方についてお話を伺いました。

※佐久地域に働く人たちがやりがいや充実感を感じながら働き、家庭や地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活を調和させる活動で、生産性の向上に努めつつ、働き方の改革に取り組む活動。



ワークライフバランスの取り組みや成果

社員の深層心理

「社員の意識度調査」では、人材育成や現場環境の改善に重点を置いている社員が多いという結果でした。経営者としては給与など待遇面の改善にばかり目が行ってしまいがちですが、意外にもそういったところに社員の深層心理が隠れているということが分かりました。早速、年に3回社員面談をおこない不安や問題点、課題などを丁寧に聞くことから始めると「工作機械の油のミストが健康面で気になる」といった、今まで思っているだけで、はっきり言えなかったであろう意見が社員から出てきました。そこで、工場用の大型空気清浄機の(予想以上の見積りにショックを受けながらも即座に)購入を決めました。

利益貢献

これまで人を育てるシステムが無く、先輩に指導を受け、見てやりながら体で覚えていく昔ながらの仕事の教え方に抵抗がある社員もいることが分かりました。そこで、寸法出し、検査機器、加工者の基礎レベル等の操作マニュアルの作成に取り組みました。作成には、部署ごとのグループワークをおこない、分かりやすい言葉や番号などを用いて手順を記すなど間違いを減らすにはどうしたらよいか、さらには、ipadを活用し写真を撮ったり、動画を撮影するなど、アイデアや工夫をしながら楽しんで作っています。これまで人前で話すことが苦手だと思っていた社員が、思いのほか話し上手だったという嬉しい発見もありました。

結果、以前よりも一定水準を保った品質の製品を安定供給できるようになり、今までメーカーしかできない調整作業が自社でできるようになるなど嬉しい副産物も。社員同士のコミュニケーションや横の繋がりが良くなったことはもちろん、WLBが利益に貢献することも分かりました。



新型コロナウイルス収束から再成長に向けて

ステークホルダーの順番

「コロナショック」によって、人々が働く環境、ビジネスをする環境は激変しています。アフターコロナの新時代を生きる上で経営者としてどう行動すべきか?危機が突きつけるものとは何か?を考えたときに、『今こそ社員とその家族を大切にする時』ではないかと思うんです。社員が幸せでなければ、お客様に満足のいくサービスや商品は提供できません。ステークホルダーにあえて順番をつけるとすれば、お客様や地域社会、株主はその後です。「社員は皆財産」のポリシーのもと、いつ何があっても、自分の給与をゼロにしても社員をクビにはしません。不安の中でいい仕事はできませんし、安心して仕事に集中してほしい。誰もが苦しい状況下におかれている今こそ世界中の企業がそれを試されているような気がします。(自慢ではないですが)アベノマスクの配布が決定される前に、当社では何とか手配できた布マスクを社員に2枚ずつ配っていたんです(笑)。

三方良しの処方箋

WLBがもっと認知され取組む企業が増えれば、幸せな人が増え、企業や地域イメージがよくなります。全国からの注目も高まり新たな企業や人財が集まってくる地域にもなります。WLBの取り組みは、地域も企業も社員も誰もが幸せになれる三方良しの処方箋のようなものです。そういう意味でこの取り組みはとても意義あるものだと思います。会社をよくしようという思いは社員も経営者も同じ。社員が幸せになると生産性が1.3倍になるという調査結果もあるように、社員の創造性と幸福度を向上させていくための活動を続け、共に収束から再成長に向けて頑張っていきたいと思います。



株式会社西軽精機
佐久市小田井 1077-18
Tel:0267-68-7104
Fax:0267-68-7124